

日本医科大学多摩永山病院の腹膜透析患者の腹膜炎発症に関する調査～今後の教育へ繋げるために～

研究協力をお願い

この研究は、日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただくずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2016 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに、日本医科大学多摩永山病院で腹膜透析を導入した患者さん。

2. 研究の目的

この研究の目的は、腹膜透析患者さんにおける年齢（75 歳以上と 74 歳以下）と腹膜炎発症の関連を評価することにより、発症に関わる特徴を明らかにすることです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学多摩永山病院で実施する研究で、研究責任者および研究事務局は看護部渡辺めぐみです。2016 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに日本医科大学多摩永山病院で腹膜透析を導入した患者さんを対象とし、カルテ情報を用いて腹膜炎を起こした患者さんと起こさなかった患者さんを比べ、年齢（75 歳以上と 74 歳以下）と腹膜炎発症の関連を検討します。

研究実施期間は実施許可日から 2027 年 3 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、腹膜透析の種類など

利用を開始する予定日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、個人が容易に特定されないよう記号化した番号により管理されます。情報は、施錠可能な血液浄化室内に設置された、パスワード保護されたパーソナルコンピュータに保管されます。患者さんの個人情報が、個人が特定できる形で使用されることはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学多摩永山病院 看護部 渡辺めぐみ

〒206-8512 東京都多摩市永山 1 丁目-1

電話番号 : 042-371-2111 内線 : 2598

メールアドレス : megumi-watanabe@nms.ac.jp